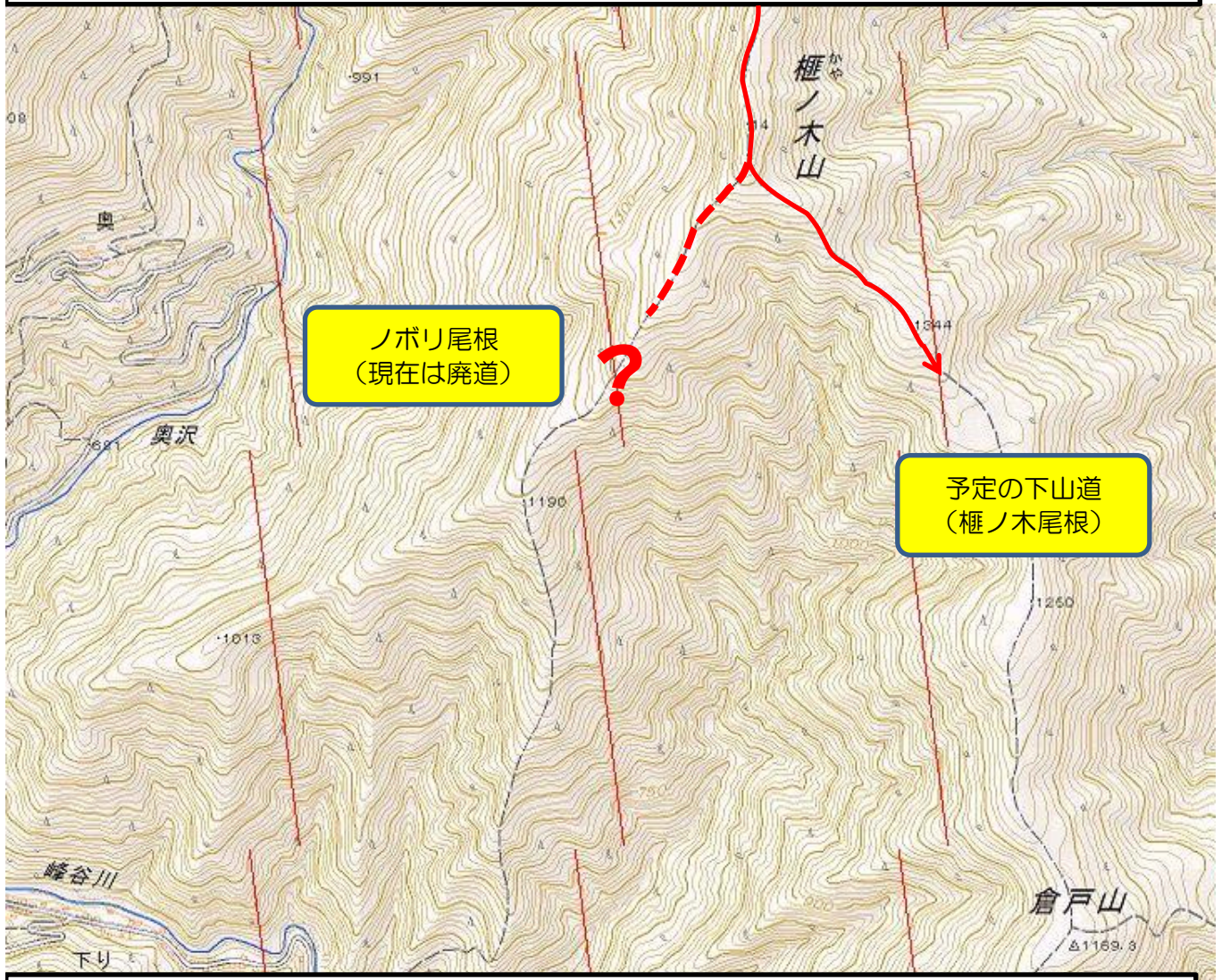


榎ノ木山道迷い(2009年12月)

倉戸山へ下山の予定が、廃道になったノボリ尾根に迷い込む。迷った場所から動かず、警察に救助を求め事なきを得た。



解説

「奥多摩湖から六ツ石山に登って石尾根の水銀山分岐から榎ノ木尾根に入った。途中で尾根の右側に迷い込み、沢を一つ越えて別の尾根に登り上げたがどのあたりにいるのか分からず、身動きが取れない。」と救助要請。

日没も過ぎた12月、雪が降りだしたので、たき火をするよう指示をした。午後9時過ぎ遭難者と合流し、一旦、榎ノ木山へ登り、正しい道を倉戸山へ下った。

榎ノ木山(1,485m)を確認し、「尾根分岐を東側の尾根へ」と予測をすれば、道に迷うことは少ないのだが、日没が近づく、単独行、焦り等、様々な要因で、道迷い発生の確立は上がってしまう。特に、昔の登山道が、廃道になった場合、道迷いは発生しやすい。事前の登山情報も重要になってくるので注意したい。